

清友

No. 3
2009年9月



木曾・奈良井宿

東京清掃労働組合退職者会

〒102-0072 千代田区飯田橋3-9-3 SKプラザ4F

TEL 03 (3237) 9995 FAX 03 (3237) 4541

清友会親睦旅行案内

- 日程 11月9日(月)～11日(水)
2泊3日
- 会費 36,000円
*会費は出発日当日いただきます。
- 宿泊 瀬波温泉 大観荘せなみの湯
新潟県村上市瀬波温泉 2-10-24
TEL 0254-53-2131
- 集合場所 新宿駅西口・明治安田生命ビル前
- 出発時間 8時(集合し次第出発)
- 旅行行程

1日目	新宿西口→石打(昼食)→雲洞庵(参拝) →瀬波温泉(泊)
2日目	ホテル→(笹川流れ道路)→めがね岩(見学) →念珠の松(見学)→サーモンハウス(昼食) →ホテル
3日目	瀬波→岩船港(買物)→弥彦神社(参拝)・ もみじ谷(見学)→キタロー(昼食)→ 新宿西口

- 申込方法 参加・不参加確認票を郵送します。
9月末までに返信用封筒により、
清掃本部宛返送してください。

秋の親睦旅行

瀬波温泉と 日本海笹川流れ ・もみじ谷

秋の親睦旅行は、
「瀬波温泉と日本海笹
川流れ・もみじ谷」
です。
旅行日は11月9日
から11日の2泊3日、



弥彦公園もみじ谷



の雲洞庵、奇岩・絶壁が続く
日本百景笹川流れ、弥彦神社
と弥彦公園もみじ谷など、見
どころも満さいです。
夫婦同伴の参加を歓迎しま
す。また、親睦をかねた旅行
ですので、会員以外の退
職者・家族に声をかけて
も結構です。

日程は別記の
とおりです。
日本海に面
した瀬波温泉
は、夕陽の美
しさで知られ
ています。「天
地人」ゆかり



瀬波温泉
大浴場露天風呂

後期高齢者医療制度の問題点

■世界に例のない年齢輪切り保険制度

- ① 75歳以上の高齢者を切り離して新しい保険制度をつくることは、リスクの多い高齢者だけを集めることになり、当然、保険料が高くなる。
- ② 保険制度を年齢で輪切りすることは、世界に例のない制度であり、国民皆保険制度の崩壊につながる。

■高齢者の尊厳を無視した許しがたい新設理由

厚生労働省は、次の新設理由を明らかにした。

- ① 老化に伴う生理的機能の低下により、治療の長期化、複数疾病への罹患（特に慢性疾患）が見られる。
- ② 多くの高齢者に、症状の軽重は別として、認知症の問題が見られる。
- ③ 後期高齢期は、この制度の中で、いずれ避けることができない死を迎える。

■保健料は際限なく上がる

- ① 少子高齢化の進行とともに、保険料は自動的に上がる。
- ② 被保険者の被扶養者（200万人）にも、新たな保険料が生じる。
- ③ 介護保険に続く保健料の「年金からの天引き」。
- ④ 現役世代が負担する「特定保険料」も上がる。
- ⑤ 保険料を滞納すると保険証が取り上げられ、窓口負担10割の「資格証明書」になる。
- ⑥ 高額医療費は申請しなければ戻ってこない。

■診療内容は低下する危険性がある

- ① 「心身の特性にふさわしい診療報酬」の名目で、従来の診療報酬とは別の体系になることにより、医療内容の低下が危惧される。
- ② 入院が90日間を超えると診療報酬が下がるため、締め出される危険性が極めて高い。
- ③ 「掛かりつけ医（主治医）」制度は機能しない。



清掃退職者会学習会

後期高齢者医療制度の廃止を求めて

7月24日、清掃会館で、都庁退連合会事務局長の佐藤さんを講師に招き、「高齢者医療制度の問題点と今後の取組み」をテーマに、学習会を開催しました。清掃退職者会としては初めての学習会で、参加者は19名でした。

佐藤講師から、①昭和48年に始まった老人・高齢者医療制度は、その後、患者負担などの改悪を経て、少子高齢化と、医療費が今後年間1兆円増加すると想定される状況の中、自公政権が後期高齢者医療制度という世界的にも例のない高齢者切捨て制度を強行したこと、②小泉構造改悪は、社会保障などの社会基盤を崩壊させた



講師の都庁退連合 佐藤事務局長

こと、③後期高齢者医療制度の概要と問題点についてふれ、最後に都退協としての取組みについて説明がありました。

後期高齢者医療制度の問題点は別記のとおり、高齢者だけでなく、現役世代にも負担増を強い、国の支出を抑制し、高齢者を病院から締め出して、「自宅で死ぬ」という制度です。

都退協は、後期高齢者医療制度の廃止を求めて取組みを進めていくというのですが、私たち清掃退職者会も、8月30日の衆議院選挙の結果誕生した、民主党新政権への働きかけを強めていきたいと思えます。



学習会終了後、懇親会。昔の話しに花が咲き、楽しいひとときでした。

第2回幹事会

旅費支給基準、会計 予算の更正を決定、 弔慰金制度の創設は 次期総会で結論を

7月24日に第2回幹事会を開き、①旅費支給基準設置、②予算の更正、③弔慰金制度の創設、④都庁退連合会計監査選出、⑤秋の親睦旅行の企画などを検討しました。

旅費支給基準は、「清友2号」に記載したとおり、交通費を実費制にし、日当などは清掃本部の基準にあわせました。

予算更正案の目的は、予算科目を支出目的に応じたものに整理して、事務を簡素化することにあります。例えば、幹事会参加費は、「会議費・行動費・交通費」の3科目で支出するため、はん雑です。「会議費」「行動費」「交通費」を目的に応じた「会議費」「行動費」「参加費」へ改めました。予算科目を更正した後の予算は、別記のとおりです。

4月の総会以降議論を重ねてきた弔慰金制度について、

第3回幹事会

高齢者集会、 上部団体総会の 対応などを確認

9月1日に第3回幹事会を開き、①高齢者集会の対応、②都庁退連合年次総会の対応などを検討しました。

高齢者集会は、9月14日が地公労独自の集会で、15日が全国集会です。

清掃への動員割当は、それぞれ2名でしたので、幹事の中から選出しました。

会員のみなさんに声をかけるべきでしたが、上部団体からの割当通知が遅かったため、

①本人死亡に際し、弔慰金を5千円支出する、②制度導入は規約改正を伴うので、次期大会で結論を出す、③葬儀参

列などの運営方法について引続き検討することになりました。

都庁退連合より、清掃から会計監査を出してほしいとの要請があり、岩淵さんをお願いすることにしました。

秋の親睦旅行の企画は、1面掲載のとおりです。

東京清掃退職者会2009年度会計予算科目更正(案)

自2009年4月1日—至2010年3月31日

◎現行予算

勘定科目	08決算額	予算額	説明
繰越額		627,759	
会費	90,000	100,000	2000円50人
交付金	900,000	600,000	東京清掃より
雑収入	148	10,200	祝金・預金利息
【収入計】	990,148	1,337,959	
本部費	44,000	60,000	自治労都本部団体20000円個人600円×50人・都庁職分担当10000円
総会費	0	200,000	議案書・案内状・交通費・行動費・食事代
会議費	0	100,000	三役会議・幹事会・その他会議
行動費	32,000	150,000	メーデー・高齢者集会・三役会議・幹事会・動員・その他
交通費	196,300	300,000	三役会議・幹事会・動員・上部団体・その他会議
教宣費	2,680	60,000	学習会・お礼・機関紙・写真・その他
交流費	58,485	170,000	上部団体・都庁(退)部会・清友会・その他
事務費	28,924	90,000	事務用品・切手・はがき・その他
予備費	0	207,959	
【支出計】	362,389	1,337,959	

◎科目更正後の予算案

勘定科目	08決算額	予算額	説明
繰越額		627,759	
会費	90,000	100,000	2000円50人
交付金	900,000	600,000	東京清掃より
雑収入	148	10,200	祝金・預金利息
【収入計】	990,148	1,337,959	
本部費	44,000	60,000	自治労都本部団体20000円個人600円×50人・都庁職分担当10000円
総会費	33,800	200,000	議案書・案内状・旅費及び諸費
会議費	132,700	200,000	幹事会・三役会議・その他清掃退職者会の会議の旅費及び諸費
行動費	61,800	200,000	メーデー・高齢者集会・動員・その他の行動の旅費及び諸費
参加費	0	150,000	上部団体各種会議・学習交流会等参加費
教宣費	2,680	60,000	学習会・お礼・機関紙・写真・その他
交流費	58,485	170,000	上部団体・都庁(退)部会・清友会・その他
事務費	28,924	90,000	事務用品・切手・はがき・その他
予備費	0	207,959	
【支出計】	362,389	1,337,959	

核兵器廃絶 1000万人署名にご協力ください

自治労退職者会は、連合、原水禁などの呼びかけに応じて、核兵器廃絶要求署名を行います。会員一人5名の署名をよろしく願います。

署名は、9月末までに、返信用封筒により、本部事務局宛郵送してください。

自治労関東甲野球大会代表決定戦

「オール清掃」惜しくも 関東甲大会進出ならず

自治労関東甲野球大会・都本部代表決定戦が、8月1日、あきる野市民球場で開催されました。

自治労都本部から要請を受けた東京清掃は、「オール清掃」チームを結成し参加、退職者会も応援に駆けつけました。

試合は、多摩地区2・特別区2・都庁職・清掃・公共民間の計7チームを2ブロックに分けたトーナメントで行われ、オール清掃の初戦は、多

摩地区予選を勝ち抜いてきた強豪東村山市。

5回まで1対5とリードされましたが、6回

表にビッグイニング、8対6で逆転勝ちし、底力を発揮。



ピンチでも爽やかに

次は代表決定戦。都庁選抜との1回戦を危なげなく勝ち進んだ中野区役所と対戦。善

戦したものの3対5で惜戦。

TN	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	R	S	H	E	Fc
清掃	0	0	0	0	1	7					8				
東村	1	0	0	2	2	1					6				



力投した投手陣



来年は、自治労全国野球大会が開かれます。今回の大会は急造チームでありながら、善戦したことは、来年へ向けて期待できるものでした。

退職者会活動日誌

- ▼5月22日、都庁退主催の築地中央市場見学会へ、庄司事務局長と岩瀬会計監査が参加。
- 建物古いが、活気があり、東京の台所のエネルギーに満ちていました。都議選の結果、民主党が第一会派になり、豊洲移転問題がどうなるのか注目されます。
- ▼6月3日・4日、箱根路開雲で開催された自治退都本部の学習会へ、戸張会計監査が参加。
- 講師の平井幸雄さん(三遊亭円塾)は、演題の「笑ひ学習・共育と学習」の中で、「楽しく笑うこと、いろいろな問題に興味を持つことが健康の秘訣」とお話しされました。
- ▼6月7日・8日、箱根路開雲で開催された東京清掃第34回組織集會へ、庄司事務局長が参加。退職者会として、昨年の結成総会以降の取組みを報告し、会員拡大へ向け、各支部へ協力を求めました。
- ▼6月20日に開かれた労働行政退職者会年次総会へ、庄司事務局長が参加。出席代議員は30人くらい、総会後の懇親会は和気あいあいの雰囲気でした。
- ▼6月22日、自治退都本部第2回幹事会へ、幹事の渡辺副会長が参加。
- 主な議題は、7月の都議選と衆院選へ向けた取組みでした。
- ▼6月26日に行われた衆議院議員保坂展人を激励しともに闘う集會へ、都退協の呼びかけに応じて庄司事務局長が参加。勝手連的な応援行動に退職者会も参加し、各地でも支える取組みが活発に行われましたが、保坂候補は、残念ながら惜敗しました。
- ▼6月30日〜7月1日、伊豆多賀の市町村共済保養所で開催された都庁退連合第6回学習交流会へ、庄司事務局長、戸張会計監査、山崎幹事が参加。
- 自治労顧問医の上野医師から「高齢者の健康」の講演を受けました。老化は個人差があること、高齢者の病気は、癌、心臓病、脳卒中、肺炎が多く、アルツハイマー対策として、水を飲むこと、コレステロールの多い人は特に牛乳が効果的とのこと。
- ▼8月1日の関東甲地区自治体職員野球大会東京都本部代表決定戦に、戸枝会計が参加しました。
- ▼8月7日、都退協年次総会へ、鈴木副会長、庄司事務局長が参加。民主党マニフェストに対する都退協としての要請が主な内容でした。政権党になった民主党へ、私たちの要求に応えた政策を行なうよう、要請を強めていく必要があります。
- ▼8月28日、自治退都本部第3回幹事会へ、幹事の渡辺副会長が参加。議題は、総会へ向けた取組みの確認でした。